



平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

片品村長 千 明 金 造



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付けで依頼のあった上記意見について、別紙のとおり回答いたします。

群馬県利根郡片品村

村長 千 明 金 造

今後の道路政策や道路整備・管理について

重点化を進める上で優先度の高い政策

中山間地の道路整備は、地形的な条件で整備が遅れている現状であります。生活道路として利用している道路でも気象条件（降水量、倒木、土砂崩れ等）による交通止めも行われ、迂回道路も少なく緊急車両等の通行ができなくなり孤立される現状から幹線道路、迂回道路等の整備はこれからの道路整備に期待されるところが大きいので中山間地の道路整備の優先度を上げて、住民が安全で安心できる暮らしができる道路整備をお願いしたい。特に中山間地は、医療機関も遠く、高齢者が数多く生活をしており、救急車で一時間もの所要時間かかる生活環境からの脱出が望まれています。また、本村では、観光、農業の産業が大きなウエイトを占めており、交通止めにより、来訪者の不安、農産物の出荷等に影響が出ますと中山間地での生活ができなくなりますので、安全で安心できる暮らしは、道路整備が第一に望まれているところであります。

効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

効率化を進める場合、全国一律でなく地域条件を加味した効率化を進めていただきたい。中山間地の道路整備は、住民が安全で安心できる暮らしを目指した路線整備を進めてほしい。

その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

中山間地の道路は、路線数も少なく最低限の生活道路として整備促進が望まれています。国道、県道でも大型車の対面交通ができない幅員の狭小な道路が多く、早急の整備改良を期待しているところであります。また、本村においては、国道 401 号で路線が確定していない箇所もあり、早急に路線確定整備改良が望まれています。